



「鬼のパンツ」を歌う国鉄四国トレインズ



笑顔はじける広蓮



ホニの馬車を楽しむ子どもたち



大勢で賑わう駅前広場

春の賑わいをおひなさまと共に

◎鬼北桃祭・近永マルシェ

3月5日、JR近永駅周辺で、鬼北桃祭・近永マルシェが開催されました。

キッチンカーや雑貨屋さんなど20事業者が軒を連ねた駅前広場には、町内外から約1,500人が来場。コロナ禍の影響で、長らく開催のなかったマルシェ形式のイベントの再開に、会場は笑顔と賑わいで溢れていました。

また、北宇和高校馬術部によるポニーの乗馬体験のほか、国鉄四国トレインズの歌唱、広蓮のダンスパフォーマンスが行われ、会場を盛り上げました。

「町なかおひなさま展示」と「スタンプラリー」は、4月9日まで行われています。



太鼓集団 天邪鬼



秋川雅史氏



愛媛大学ダンス部



ダンスチーム広蓮



太鼓集団 魁

広中体育館50年の歴史の最後を飾る

◎みにこんか

3月10日、コロナ禍で開催できなかった「でちこんか」の代替イベントとして、また解体前の広見中学校体育館での最後の催しとして、「みにこんか」が開催されました。

今秋の「でちこんか2023」の開催に向けた、感染対策や課題等の検証も含めて行われた「みにこんか」。昼の部には町内中学生が来場、夜の部には一般客約300人が詰め掛け、会場は熱気に包まれました。訪れた人たちは、ダンス・太鼓・歌唱、どれも迫力満点の生パフォーマンスに引き込まれながら、広見中学校50年の歴史に思いをはせていました。

現代版日吉実業学校の開設を目指して

◎日吉まちづくり大学講座



3月4日、国登録有形文化財である明星草庵・井谷家住宅で、日吉まちづくり大学講座が開催されました。

明治39年、井谷正命が自宅を学校として開設し、日吉村の教育を支えた日吉実業学校。「まちづくりは、人づくりから」という正命の精神を継承し、井谷家住宅を保存・活用した地域活性化策を、参加者とともに学び考える会として教育委員会が主催し、約10名が受講しました。

参加者たちは、老朽化が進む井谷家住宅の現状を目の当たりにしながら、地域の発展を語る貴重な文化財の活用について模索していました。

ここまでわかった奈良山等妙寺

◎鬼北町山寺講座



2月25日、鬼北町山寺講座の第3回目が、中央公民館で開催されました。

これまでに行われてきた、等妙寺旧境内の成立背景や変遷、活動の実態に迫る調査・研究の成果について、日本山岳修験学会理事の山本義孝氏が解説。令和6年のオープンを控えたガイダンス施設と、整備が進められてきた史跡公園を有効活用していくためには、「史跡を語るに足る歴史の解明が不可欠だ」と熱弁を振るいました。参加者たちは、明らかになってきた等妙寺の歴史に思いをはせながら、史跡を核としたまちづくりについて考えていました。



【高校寮概要】

- ▶ 建築面積：321.07㎡
- ▶ 延床面積：605.17㎡
- ▶ 木造2階建
- ▶ 寮室：14室

木の香漂う温もりある寮を目指して

◎北宇和高校教育寮新築工事 起工式

2月13日、愛媛銀行近永支店横の敷地で、北宇和高校教育寮新築工事の起工式が行われました。

生徒の全国募集を行っている北宇和高校に、町外・県外から入学してくる子どもたちのために整備される高校寮。学校林のヒノキ（樹齢約70年）を伐採した木材を使用し、今年8月の完成を予定しています。兵頭町長は「活力あるまちづくりには、北宇和高校生・先生・保護者の存在が欠かせない。子どもたちが安心して暮らせる寮の完成を願う。」と期待を込めました。

